

■ 特別展 ■

酒井家姫路藩の文化

Culture of Sakai's Himeji clan



姫路城世界遺産登録三〇周年記念事業

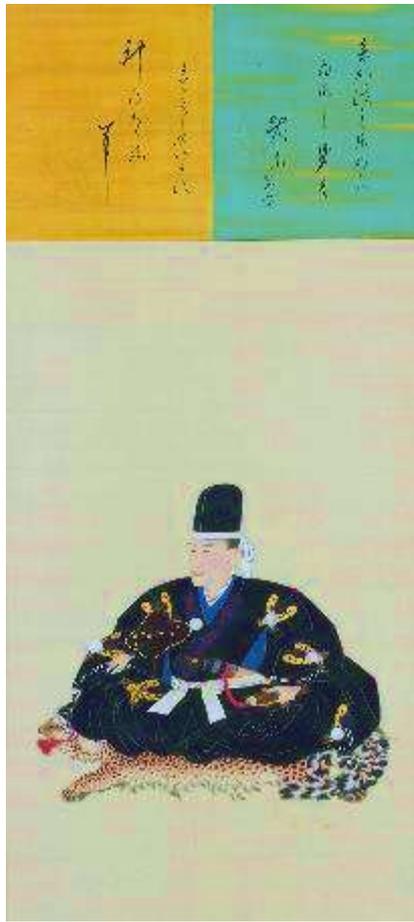
- 主催 三星会・姫路市立城郭研究室
日時 令和5年9月14日(木)~29日(金)10時~17時(入場は16:30まで)
【休館日 19日(火)・25日(月)】
会場 姫路文学館 特別展示室 (姫路市山野井町 84)
料金 高校生以上 200円(中学生以下は無料)
問合せ **姫路市立城郭研究室** (姫路市本町 68-258 TEL079-289-4877)

武士たちの築いた文化とその様相

姫路城を藩庁とした姫路藩は、軍事上、姫路が重要な地であったことから江戸中期までの藩主家は幼年の当主が出ると転封となり、一つの大名家が長期間、藩主を務めたことはありませんでした。しかし、寛延二年（一七四九）に入封した酒井家は、幸いにも幼年の当主を出すことなく、明治四年（一八七二）の廃藩までの百二十二年の間、姫路藩を治めました。姫路地域の文化財には、この時期に生みだされたものも少なくなく、そこには酒井家やその家中が重要な役割を果たしていたことが確認できます。しかし、こうした文化財は、茶道の酒井宗雅や江戸琳派の酒井抱一・鈴木其一師弟などが関わったものを除くと、あまり紹介されていません。本展では、酒井家入封後の歴史を追いつつ、主に酒井家姫路藩の藩士らの手による書画を紹介しながら、彼らによって育まれ、今に伝わる地域の文化について考えます。



下田桂屋
《雪溪歸漁図》
嘉永6年（1853）、個人蔵



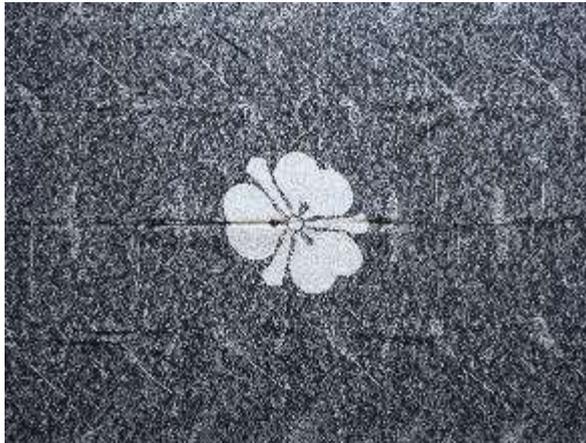
《寸翁主壽像》
鈴木其一画・河合寸翁賛
天保6~8年（1835~1839）、城郭研究室蔵



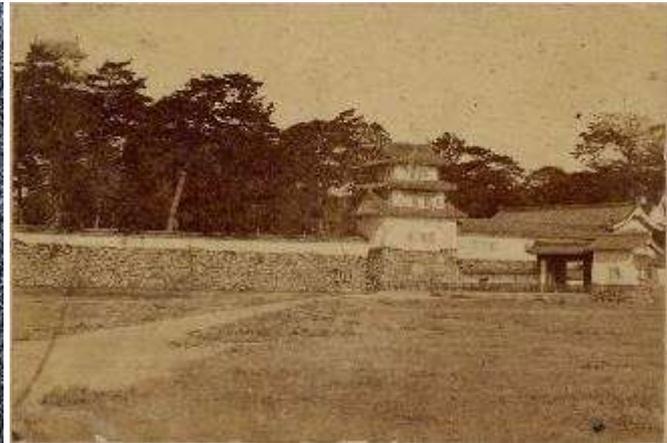
筒井素彦画・頼山陽賛
《糺林図》
江戸後期、個人蔵



明珍宗之《葦雁図鐳》
近世後期~近代、個人蔵



《染抜姫路剣鉞縹紋高砂染縮緬布》江戸後末期、個人蔵



《姫路白鷺城大手》明治8年（1875）頃撮影、個人蔵



《染付熊鷹紋図盃破片》近世後期、
姫路市立埋蔵文化財センター



伊勢城美守《刀 銘 元治二年丑二月吉辰 播州姫路臣伊勢城美守造》元治2年（1865）、個人蔵



《鉄砲洲警衛絵巻》部分 狩野永舟画 安政7年（1854）、城郭研究室保管

★関連行事 令和5年度 三星会総会特別講演

講師 福田千鶴（九州大学）

演題 「酒井忠清」

日時 8月26日 14:00~ 日本城郭研究センター大会議室

参加 どなたでも、当日受付、資料代 300円

★他の催し

特別版 お城 EXPO in 姫路

日時 9月16~18日 アクリエひめじ

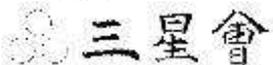
9:00~17:00（最終日は16:30）

詳しくは <https://www.shiroexpo-himeji.jp>



姫路市立
城郭研究室

〒670-0012
姫路市本町 68-258
TEL 079-289-4877



〒670-0871
姫路市伊伝居馬場先新町 53
TEL 080-6884-808098